

## 【毛呂山町教育委員会】

### 校務DX計画

#### 1 これまでの取組

本町では、校務支援システムの導入を行っており、教職員の負担軽減と校務の効率化を図ってきました。令和2年度から児童生徒に学習者用端末を配布し、従来の授業スタイルを維持しながら、ICTを活用しGIGAスクール構想の実現に向けて取り組んでいます。また、統合型校務支援システムとして学校におけるグループウェア機能、教務系、学籍系、保健系などの情報を一元管理および共有することで、校務における業務負担の軽減による教育の質の向上や情報セキュリティ面での向上が図られております。

#### 2 校務のデジタル化

本町では、校務支援システム内のグループウェア機能を文書連絡、資料送付などに活用しています。また、教職員1人1人に業務用のメールアドレスを付与しており、外部との連絡に活用しています。保護者への一斉連絡ツールについては、町の公式SNSサービスを活用しており、教職員の負担軽減やコミュニケーションの迅速化ができる環境を整備しております。

#### 3 統合型校務支援システムの更改

本町では、校務のデジタル化による教職員の負担軽減に取り組んでおりますが、今後の課題として、クラウドサービスの未活用やFAXでのやり取り・押印の見直し、不合理な手入力作業の一扫等が考えられます。

##### ①クラウドサービスの未活用

- ・欠席連絡や保護者への一斉連絡ツールは導入済み
- ・今後、さらにクラウドサービスが充実し、校務の効率化による教育の質の向上が見込まれる。情報収集を随時行い、導入のあり方について検討を行う

##### ②FAXでのやり取り・押印の見直し

- ・FAXについては、緊急連絡や教育ネットワークの不具合時などFAXのほうが電子メールより効率的な場合などを除いて校務系ネットワーク上でのやり取りの可否を検討し見直しに向けた取り組みを進める。
- ・押印については、今後押印の見直し及び廃止に向けて検討を進める